

# 第1学年〇組 学級活動指導案

平成24年10月24日（水）第6校時

場所 1年〇組教室

1年〇組 指導者 松澤 修

- 1 題材 「自他肯定思考育成ワーク」（通称「1年〇組ビフォー・アフター」）  
内容（2）適応と成長及び健康安全 オ 望ましい人間関係の確立

## 2 題材について

### （1）生徒の実態

本学級の生徒は、落ち着いて学習に取り組むことができ、グループ学習においてもまじめに取り組むことができる。グループの中では、特定の相手に対して交流を避けたり、嫌がったりすることはないが、交流が一部の生徒同士に限られ、発言する生徒にも偏りが見られる。その背景として、生徒同士の親しさに差があることや人との関わりに積極的になれない不安感があることが、グループ活動時の交流の偏りや発言の偏りとなって表れているものと考えられる。

こうした課題の改善には、大きな集団ではなく、まずは小さな集団としての二者関係で学び合うことが大切である。一人の生徒が、相手を代えて複数の二者関係をつくれるようにすることである。二者間で適切な交流ができるようになり、複数の二者関係が増えていけば、多くの生徒との適切な交流が増え、全員が主体的に関わるグループ学習ができるようになると思う。また、複数の二者関係の中で、自分も他者も肯定的にとらえられるようになれば、よりよい人間関係をつくることができるようになると思う。

### （2）題材設定の理由

本題材は、中学校学習指導要領特別活動の学級活動の内容（2）「適応と成長及び健康安全」の「オ 望ましい人間関係の確立」に基づいて設定したものである。また、「はばたく群馬の指導プラン」で示された「豊かな心」を育成するための三つの心のうち、「向上する心」「大切に作る心」の育成に向けた「自分のよさに気付き、夢や希望をもつことができる」資質・能力や、「友達、学級、地域などを大切にすることができる」資質・能力を育むものである。

本題材は、「最高のクラス」を目標として学校生活を見直していく過程を通して「自他肯定思考」を育成するものである。「自他肯定思考」とは、自分や他者を肯定的にとらえる考え方（I am OK. You are OK. 私もあなたもOKである。）である。「自他肯定思考」を育成するために「自他肯定思考育成ワーク」（通称「1年〇組ビフォー・アフター」）を作成した。「自他肯定思考育成ワーク」は、うまくいかない原因よりも、個人や学級のよさやうまくいっていること、よくできていることに目を向けさせ、自分も他者も肯定的にとらえられるようにしていこうとするものである。また、「自他肯定思考育成ワーク」中の生徒同士の関わりでは、二者関係を基盤とする。二者で適切に交流できるよう指導し、さらに相手を代えて一人の生徒が複数の二者関係をつくり、四者関係、小集団へと広げていく。

「自他肯定思考育成ワーク」の実際の指導においては、まず、ゴール像をできるだけ具体的な姿として明確にする。ゴール像として、本学級としての「最高のクラス」を考えさせ、「最高のクラス」で起こっていることを目標として設定する。ゴール像の明確化により、学級の生徒全員が具体的に何をすればいいかわかるようになり、達成への意欲を高めることもできると考える。また、同じゴールを目指して取り組むことにより、互いに高め合う関係ができるようにしていく。ゴール像に向かって取り組む過程では、帰りの会や教科授業の中で振り返りを行う。その日見られたよい行動を二者で伝え合う。複数の二者関係をつくるきっかけとするため、伝え合う相手を毎日代える。このことにより、生徒はいろいろな生徒から肯定的な言葉を受けることになる。言葉を受けた生

徒は、自分が認められたことを実感できると同時に、認めてくれた相手を好意的にとらえられるようになる。ある程度取り組んだ時点で、学級としての振り返りを行う。ゴール像に対してどの程度達成できているか、山登りに例えて「何合目」と表現する。学級全体で何合目か確認したら「あと一合登るにはどうしたらいいか」考え、何をすべきかを明らかにする。頂上までではなく「あと一合」とスモールステップにすることにより、取り組むべきことを明確にすると共に、取組への意欲を高める。次に、ゴール像に到達するための新たな資源探しとしてリフレーミングに取り組む。短所と見方を変えると強みになるという考え方を伝え、より肯定的な見方ができるようにしていく。

「自他肯定思考」は日々態度化・行動化され、帰りの会で評価されているものであるが、それは二者の間でのことである。そこで、学級全体としての振り返りや態度化・行動化への意欲を高める学習を行う。ロールプレイング（役割演技）でどのような態度・行動をとったらいいか考えたり、すでにゴール像に到達している態度・行動を考えたりする。最後に、「自他肯定思考育成ワーク」に取り組む前と今で変わってきたことを考え、学級や自他の成長を振り返る。

こうした取組により、生徒は、肯定的な言葉を受ける機会が増えると同時に、他者に対しても肯定的な見方を意識するようになる。その結果、自分をありのままに受容することができるようになると共に、他者を受容することができるようになると考えられる。また、受容的な人間関係の中で、人と関わることのよさを実感できるようになり、よりよい人間関係を形成していこうという意欲を高めることにもつながっていくだろう。

以上のことから、「自他肯定思考育成ワーク」を学級活動や帰りの会などに計画的に取り入れて生徒同士が学び合うことは、自他の肯定意識を高め、よりよい人間関係の育成につながるものと考え、本題材を設定した。

### 3 指導のねらい

自分たちが目指す「最高のクラス」を実現するための取組の中で、生徒同士が認め合い、目標に向かって高め合う交流を通して、自分も他者も肯定的にとらえる考え方を育み、よりよい人間関係を育成する力を培う。

### 4 学級活動（2）の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自他の生活の充実と向上にかかわる事柄に関心を持ち、自主的、自律的に日常の生活を改善していこうとしている。	自己や他者を生かしながらよりよい学級づくりについて考え、判断し、協力し合って実践している。	集団で生活することの大切さやよさ、自他や集団の成長などについて理解している。

### 5 指導計画（本時は5時間中の4時間目）

月 日	教科等	ワーク	ねらい	主な学習内容	目指す生徒の姿と 評価方法
10月11日 (木)	学活	1目標設定	「最高クラス」の具体的な姿のイメージを明確にすると共に、自分自身の行動目標がもてるようにする。	<b>○学級目標を具体的な姿で表現する</b> 学級目標が達成されたときの具体的な姿をイメージする。「どういう場面でどんなことをしているか」という視点で考え、具体的な姿を目指すゴールとして設定する。 <b>○自分の行動目標を確認する</b> ゴールである「最高のクラス」に近付くために、自分は何ができるか、具体的な姿で目標を設定する。	【関心・意欲・態度】 ・「最高のクラス」をつくるために自分は何をするか考えている。 (観察・ワークシート)
10月11日 (木)～ 11月1日 (木)	帰りの会	2振り返り	日々の生活の中で見られたよい行動を伝え合い、実践への意欲を高められるようにする。	<b>○お互いの頑張りを探し、言葉で伝え合う</b> 帰りの会の中で伝え合う場を設定し、二人組でその日見られた互いのよい行動を伝え合う。伝え合った言葉を付箋紙に記入し、ワークシート集に添付してストックしていく。この活動を一週間継続して行う。	【関心・意欲・態度】 ・「最高のクラス」に近付くための態度・行動を意識して学校生活を送っている。 (観察・ワークシート)
10月16日 (火)	学活	3現在地確認	目標に対する達成度の確認をすると共	<b>○今、目標の何合目か、あと一合登るには何が必要か考える</b> 目標への過程を山登りに例え、今何合目を登っているところか	

			に、目標に近づくための具体的な行動目標を明確にもつことができるようにする。	確認し、その理由を話し合う。又、あと一合登るためには何をすればいいか話し合うことにより、これから取り組むべき具体的な目標を明確にする。	<b>【思考・判断・実践】</b> ・自分や他者のよさを見つけている。 (観察・ワークシート)
10月18日 (木)	学活	<b>4 資源探し</b>	自分のよさを確認したり、気付かなかったよさに気付いたりすると共に、友達のよさを見付けたり、気付かなかったよさに気付くことができるようにする。	<b>○自分のよさを確認する</b> 「最高のクラス」に近づくために生かせる自分自身のよさを考える。同様に、友達のよさについても考える。 <b>○リフレーミングを知り、やってみる</b> リフレーミングについて知り、練習することにより、視点をかえた見方ができるようにする。 <b>○新たなよさ（隠れている長所）を探し合う</b> 今まで気付かなかった自分のよさや強み、友達のよさや強みについて考える。	
10月22日 (月)～ 10月26日 (金)	教科 授業	<b>5 教科授業 での振り返り</b>	教科授業の中での頑張りを認め合うと共に、実践への意欲を高められるようにする。	<b>○教科授業の中で、お互いのよさを認め合う</b> 教科授業の最後で、二人組でその時間に見られたお互いのよさを伝え合い、ワークシート集に記入することにより、教科授業の中での互いのよさを認め合えるようにする。この活動を一週間継続して行う。	
10月24日 (水)  <b>【本時】</b>	学活	<b>6 態度化・ 行動化</b>	ロールプレイングやこれまでに目標達成できている態度・行動を振り返ることにより、「最高のクラス」にするための態度・行動をとろうという意欲を高められるようにする。	<b>○「最高のクラス」に近づくための態度・行動を考えるためのワーク（ロールプレイング）を行う</b> 場面を設定してロールプレイングを行い、よりよい態度・行動について考えられるようにする。 <b>○これまでに実践できていたことを確認する</b> 付箋紙やワークシートを貼り付けたワークシート集や「現在地確認」の掲示物などを見ながら、すでに実践できていることを紹介し合い、今後も「最高のクラス」にするための態度・行動をとろうという意欲を高められるようにする。	
11月1日 (木)	学活	<b>7 成長の 振り返り</b>	学級や自分自身が成長したことに気付くことができるようにすると共に、今後も継続して行動しようという意欲を高められるようにする。	<b>○「最高のクラス」(ゴール) にどれくらい近付けたか評価する</b> これまでの記録(ワークシート・掲示物など)を参考にしながら、どの程度達成できたか、現在地を確認する。また、その理由も明らかにする。 <b>○「自己肯定思考育成ワーク」に取り組んだ感想などを話し合う</b> これまでの記録(ワークシート・掲示物)を振り返ったり、友達と意見交換をしたりして、自分の成長を実感できるようにする。	<b>【知識・理解】</b> ・集団としての成長や自己の成長などについて理解している。 (観察・ワークシート)

## 6 本時の指導と生徒の活動

### ①本時の活動のテーマ

『「最高のクラス」に近づく態度・行動について考えよう』

### ②本時のねらい

ロールプレイングやこれまでに目標達成できている態度・行動を振り返ることにより、「最高のクラス」にするための態度・行動をとろうという意欲を高められるようにする。

### ③準備 教師 これまで「ビフォー・アフター」で取り組んだ活動の教室掲示資料

ロールプレイングの台本 合唱コンクールの写真 ワークシート

生徒 ワークシート集(「ビフォー・アフター」の活動で使ったワークシートや付箋紙を貼った冊子)

### <ロールプレイングの台本>

合唱コンクールが終わりました。○組は3位でした。あなたが教室に戻ると、A子さんが泣いていました。A子さんは練習のときも一生懸命練習していましたし、周りの子にも熱心に声をかけていました。最高のクラスにいるあなたは何をしますか？

### ④展開

	活動の内容	指導上の留意点	資料等	目指す生徒の姿と評価方法
活 動	1 ウォーミングアップ を行う。	○意見が言いやすい雰囲気を作ると共に、協力することへの達成感を味わえるようにする。		

<p>の 開 始  5 分</p>	<p>2 これまでの取組を振り返る。 3 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○ワークシート集や教室掲示資料、授業者からの言葉などによって、これまでの取組を確認する。</p>		
<p>本時のめあて：『最高のクラス』に近づく態度・行動について考えよう」</p>				
<p>活 動 の 展 開  35 分</p>	<p>4 「最高のクラス」に近づくための態度・行動を考えるためのワーク（ロールプレイング）を行う。</p> <p>5 これまでに実践できていたことを確認する。</p>	<p>○学級内で起こりうる場面を設定してロールプレイングを行い、よりよい態度・行動について、臨場感を伴って考えられるようにする。 ○「相手の気持ちを考えた態度・行動とはどのようなものか」という視点で考えさせるようにする。 ○設定された場面でどのような態度・行動をとるか、まず自分の考えを書き、お互いの意見を出し合いながらグループで話し合うことにより、主体的に話し合えるようにする。 ○幾つかのグループを指名してロールプレイングすることにより、多様な考えに触れられるようにする。 ○ロールプレイングをやってみた感想や見た感想を交流することによって、いろいろな生徒の考えを共有できるようにする。 ○ワークシート集や「現在地確認」の掲示物を見るなどしてこれまでの取組を振り返り、すでにできている「最高のクラス」に近づくための態度・行動を紹介し合うことにより、自分たちの成長を感じられるようにすると共に、これからの活動への意欲を高められるようにする。 ○各個人で考えワークシートに記入し、隣の人と意見交流をする。 ○全体で発表し、共有化することで、学級としての成長を認め合えるようにする。 ○これまでにできていた態度・行動について十分に賞賛することにより、これまでの態度・行動に自信を深めると共に、これからの活動にも意欲がもてるようにする。</p>	<p>ロール プレ イン グの 台本  合唱コ ンク ールの写 真  ワー クシ ート 集  掲 示 物</p>	<p><b>【思考・判断・実践】</b> ・相手の気持ちを考えた態度・行動について、お互いの意見を出し合っている。 (観察・ワークシート)</p>
<p>活 動 の ま と め  10 分</p>	<p>6 実践目標を自己決定する。 7 本時の活動を振り返る。</p>	<p>○自分には何ができるか、「何を・どのように」という視点で考えさせ、やるべきことを明確にし、実践への意欲を高められるようにする。 ○この時間を振り返って、思ったことを記入する。 ○教師からも、本時の中で見られた変容や、よりよい態度・行動につながる姿について具体的に伝え、実践への意欲が高められるようにする。</p>		<p><b>【関心・意欲・態度】</b> ・実践目標を明確にし、これからも「最高のクラス」にするための態度・行動をとろうとしている。 (観察・ワークシート)</p>